

平成29年第2回定例会の開会にあたり、提出いたします案件につきまして、その概要をご説明いたします。

今年に入り、地对地中距離弾道ミサイル等の発射実験が幾度となく実施され、軍事活動が活発化する北朝鮮の情勢にあっては、「国際情勢を極度に不安定化させる行為」と捉え、国連安全保障理事会において、弾道ミサイル発射実験が行なわれる都度、その軍事行動を非難する声明を発表し「対話」による解決策の模索が続けられております。

一方、米国政府においては、トランプ政権発足当初より、「武力行使」による解決も辞さない強固な姿勢を見せており、日本海への原子力空母、韓国釜山港への原子力潜水艦の派遣など、北朝鮮の軍事行動抑制に向けた準備も進められ、緊迫した状況が続いております。

このような情勢を踏まえ、国内でも弾道ミサイル発射に対する国民保護への関心が高まっており、日本の領土や領海へ落下する恐れがある場合、政府では、2007年に運用を開始した全国瞬時警報システム（Jアラート）を通じて、防災行政無線、携帯電話の緊急速報メール等で情報を発信し頑丈な建物、地下街等へすぐに避難するよう呼びかけを行なうこととしております。

内閣官房と総務省消防庁の共催による会議においては、弾道ミサイル着弾の可能性を含む、あらゆる場面において、実際の状況を想定した住民避難訓練の必要性も指摘されております。

山梨県においては、県のホームページから「国民保護ポータルサイト」へのアクセスができるよう対応を行なっており、有事の際のとりべき行動について周知を図っております。

本市においても県と連携し正確な情報発信と着弾の可能性が示された場合の避難方法について、現実には起こりえる可能性がある事柄として認識を高め、即座に迅速な避難行動を行なえるよう、周知を図っていく考えであります。

併せて、自然災害を想定した避難訓練に加え、人為災害による一朝有事に備えた住民避難訓練の実施についても検討せざるを得ない状況であると考えております。

隣国の韓国においては、朴槿恵前大統領の罷免に伴う大統領選挙において、5月10日、最大野党「共に民主党」の文在寅氏が第19代大統領に就任し、9年ぶりに保守から左派に政権が交代となりました。マスコミでの様々な報道がございますが、日本への外交姿勢については、「反日派」と称され、日本に対して厳しい発言がなされております。従軍慰安婦問題をめぐる2015年の日韓合意についても無効とし、再交渉を推進する方向を示しております。今後、両国間の溝をどのように埋め、歩み寄りを見せるのか動向が注目されているところであります。

大きな動きのあった海外より身近に目を向けますと、本市では、この6月から市民、家族、企業、地域にとって健康は財産であるという考えのもと、官民一体となって健康づくりを推進する『幸せ実感！南アルプス健康リーグ』をスタートさせます。事業推進においての一つの柱となる健康ポイント制度として、市商工会との連携の中で、サービス店会で利用できるアルピーカードにポイントを付与することとしております。市内の店を利用することで、健康づくりと併せ、商店の活性化の効果も願っております。

さらに、JAこま野農業協同組合においては、既に5月1日から健康診断への参加を条件として、定期預金の利率をあげる「健康リーグ参加型」の特別金利事業やAコープを活用した事業展開を実施していただくなど、健康づくり推進事業にご協力を頂いております。

健康寿命の延伸には、何よりご自身の健康に関心を持っていただくことが一番であります。健康であることは社会貢献となりますので、それぞれの立場から健康づくりに取り組んでいただき、高齢化社会に柔軟に対応してまいりたいと考えております。

続きまして、現在、鋭意推し進めております、様々な施策の中から、多くの方々大変好評をいただいております取り組みにつきまして、報告させていただきます。

その1つ目は、ふるさと納税についてであります。

まず本市では、様々な施策に対し、全国の皆様に応援していただくという、ふるさと納税本来の趣旨を踏まえ、これを実施しております。

前年度は、全国各地から、11,000人余りの方々から、尊い応援をいただき、さらに今年度、4月末現在の状況は、すでに、6,000人を超える方々からの応援をいただいております。

こうした寄附者の方々には、心ばかりのお礼として、JAこま野農業協同組合をはじめ、市商工会など、市内事業者の方々との連携を図りながら、地元特産品をお送りいたしており、本市の地域産業の活性化策にもつながる、有効な仕組みを築いたところであり、こうした取り組みが功を奏し、お礼の品としての本市のシャインマスカットが、ふるさと納税の最大のポータルサイト上で、4月から5月上旬にかけ、全国で最も注目される結果となり、南アルプスブランドのイメージの定着化にもつながったことと考えております。

2つ目は、ふるさと人物室についてであります。

中央図書館において10月から開設した、本市ゆかりの政治家や、文化人などの偉業を紹介する、「ふるさと人物室」が市内外を問わず、大変な好評を博しております。

第1弾として、「塔博士」とも「耐震構造の父」とも称される建築家・内藤多仲博士を紹介して以来、5月末までにおよそ2万人の方々のご来場をいただきました。

現在、第2弾として、源村出身の外交官・埴原正直氏の実績や生涯を、およそ50点の資料を揃え紹介しております。

次に、市長就任3年目を迎え、重点的かつ継続的に進めております、4つのプロジェクトについて、ご説明いたします。

1つ目としまして、公共施設再配置方針に基づく、支所等の移転整備についてであります。

支所を各地区の拠点施設とした再配置事業は、今年度を実行の年と位置付け、地区ごとに着手いたしております。

各支所などに、複合的な機能を集約することで、より一層利便性を高めながら、一方で「地域市民の拠り所」となるよう、地域コミュニティの活性化を図るとともに、公共施設の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に実施することで、将来負担の軽減に向けた行政改革を、継続的に進めるものであります。

まず、若草窓口サービスセンターにつきましては、前年度から移転先である若草生涯学習センターの改修工事に着手して以来、今年度の移転作業も順調に進んでおり、5月29日から新しい窓口で業務を開始いたします。

次に、八田窓口サービスセンターにつきましては、来年度の八田高度農業情報センターへの移転に向け、現在、施設改修、道路拡幅工事に係る調整を進めております。併せて、敷地内駐車場の再整備と、八田農業者健康管理センター解体後の駐車場整備に関しまして、より効率的に駐車スペースを確保できるよう設計してまいります。

また、芦安窓口サービスセンターにつきましては、今年度末までに、芦安農林事業者健康管理センターを改修し、芦安郵便局、南アルプス自然保護官事務所と共に移転し、これまでどおり中央図書館芦安分館も備えた施設として、整備いたします。

さらに、(仮称)白根桃源図書館・白根生涯学習センターにつきましては、関連部局との調整を図りながら、今年度中に建築工事を完成させ、現在の白根桃源図書館、及び道路整備課分室の解体後に、駐車場などの外構を整備する計画を、円滑に実施してまいります。

2つ目としまして、庁舎整備についてであります。

前年度策定いたしました、基本計画・基本設計に基づき、現在、実施設計の策定業務を、着々と進めております。計画どおり、すべての整備を30年度内に終

了させるべく、今年度は西別館3階の内装ほか改修工事の完了後、1階・2階の耐震改修工事を予定しております。さらに、耐震棟増築工事、本庁舎耐震改修工事についても、今年度中に着手できるよう進めてまいります。

3つ目としまして、6次化拠点整備についてであります。

これまでに、6次化拠点につきましては、「事業を継続し、その方法は、民設民営の方針で再建する」とした、6次化拠点整備事業検討委員会での協議結果の報告をいただき、この内容を真摯に受け止めております。

今年度中には、公募により優良な事業承継者を審査し、意見を付した上で、破産管財人に提言することで、円滑な清算処理を支援し、その上で、民間活力による、新たな拠点整備につなげてまいりたいと考えております。

4つ目としまして、県民の森・伊奈ヶ湖周辺の拠点整備事業と南アルプスユネスコエコパークについてであります。

まず、今年度中に、伊奈ヶ湖周辺施設を有効活用できるよう、大規模改修を行い、緩衝地域の拠点施設として機能を充実させてまいります。市内外の多くの方が、自然の中での様々な体験を通じ、自然の保全や持続可能な利活用への、理解を深めることができるよう、鋭意取り組んでまいります。

次に、今年度の経営方針において、特に優先施策として位置付け、私の公約を強力に推進させる、若い世代への子育て支援と、安心安全なまちづくりについて、その一端をご説明いたします。

まず1つ目に、結婚・出産支援についてであります。

市民が安心して、子どもを生き育てることができる社会環境の構築に向け、その第一段階である「結婚」を希望する市民に対し、積極的に出会いの場へ参加できるように、その支援強化を図ってまいります。特に、「やまなし出会いサポート事業」への市内からの参加者を支援することで、出会いの場への参加がしやすい環境づくりを進めてまいります。

また、4月から健康増進課に、助産師を配置しております。産前産後ケア事業の一環として、妊娠中の不安や産後の育児など、出産に関する悩み相談の場として、多くの方が気軽に相談できる環境を整えております。

2つ目としまして、子育て支援についてであります。

まず、公約である中学校3年生までの、医療費窓口無料化については、すでに平成28年1月から実施することができましたが、さらに今年度4月からは、対象年齢を18歳まで拡大し、公約を上回る支援強化を図ったところであります。

次に、保育所、放課後児童クラブの環境整備・充実については、百田保育所の改修と、巨摩、白根、白根東各保育所の改修に向けた実施設計の策定を実行しております。また、白根東、若草各児童クラブの整備と、小笠原児童クラブの用地取得も進めております。

3つ目としまして、安心安全なまちづくりの一環としての、消費生活センター設置についてであります。

4月から、みんなでまちづくり推進課内に、消費生活センターを開設いたしました。多様化する悪徳商法、高齢者を狙った電話詐欺などの、消費生活のトラブルには、早急な対応が求められます。このため、消費生活相談員を常駐させることで、身近な相談窓口として消費生活センターを稼働させております。

4つ目としまして、多様な組織、関係機関との防災協定についてであります。

これまでに、山梨県行政書士会と、被災者支援に関する協定を結んでおります。災害時に、被災者支援相談窓口を設置した際、罹災証明書の発行などの諸手続きを行っていただくことで合意しております。

また、市内14の郵便局と、災害時に、避難所での臨時ポストの設置などをはじめ、ゆうちょ銀行の預金払い戻しや、かんぽ生命保険の給付金の手続きなどを行っていただく内容の協定を結んでおります。

さらに、中巨摩医師会南アルプス市班、市歯科医師会、市薬剤師会と、災害時の医療救護に関する協定を締結いたしました。災害時に市が開設する救護所に、医師や歯科医師、薬剤師らを派遣していただき、医療救護、口腔の応急処置や衛生管理、救護所における適正な調剤などを行っていただくことで合意しております。

こうした、関係機関各位の、地域防災における共助への崇高なお志に対し、改めて敬意を表するものであります。

5つ目としまして、学校施設整備と、文化拠点の整備についてであります。

まず、学校施設の整備につきましては、現在、豊小学校の校舎大規模改造工事、白根御勅使中学校の校舎改築工事を実施しております。今年度はこれに併せて、落合小学校の屋内運動場改築工事、さらに10校を対象に、校舎・屋内運動場等の非構造部材耐震補強工事を実施してまいります。

次に芸術文化の拠点施設である、美術館のリニューアル事業についてであります。

市立美術館は、春仙美術館として平成3年11月に開館し、25年余りを経過しております。収蔵作品の管理や来館者の安全確保などが懸念される状況でありますので、平成30年度までに既存施設の大規模改修を行い、併せて市民の文

化活動の発表の場として市民ギャラリーなどの増築工事を実施いたします。

次に、歴史文化拠点の安心安全の確保に向けた、ふるさと文化伝承館の大規模改修についてであります。

平成7年に、ふるさとの歴史や文化を伝承し、紹介する学術研究施設として建設され、平成21年度には展示公開を行うための改修を行ったところでありますが、今年度、大規模改修工事設計を行ってまいります。

さらに、桃源文化会館改修につきましては、今年度中に改修工事に着手し、来年度中の完成を予定しております。

本市の合併特例期間も来年度で終了を迎え、今、正に、本来の1つの市として、無理、無駄のない行財政運営を確立させる、ターニングポイントにあります。

このことを、職員一人ひとりが深く認識した上で、行動するよう、年度当初に、目指すべき職員像について訓示したところであります。使命感と情熱を持ち、客観的に将来を展望し、常に問題意識を持って業務に専念することを、職員一丸となって実行し、市民から信頼をいただくことができるよう、全力を尽くしてまいります

本定例会に提出いたします案件は、条例案4件、予算案4件、契約案1件、市道路線に関する案1件、条例の一部改正の専決処分につき承認を求める案2件、同意案1件、合わせて13件であります。

詳細につきましては、総務部長、総合政策部長から説明いたします。